

身近な地質スポット

常滑市大谷／小鈴谷海岸の海食崖

海食崖とは、海岸に迫る陸地の突出部が波の激しい浸食によって造られた切立った崖のこと。海崖、波食崖とも称され、岩石に硬軟があると奇形ができやすいことから、海岸地域の景勝地の一要素となっています。

近年、海岸線は保護の面から栗石、コンクリート等で覆い隠され、観察ができる崖は限られてしまいます。

平地の多い愛知県東部の沿岸部では知多半島のわずかに見られる珍しい地形です。

そんな中、小鈴谷海岸に見られる今回の崖は、直下まで徒歩で近づけ、波による浸食でできた複雑な地形を観察することができます。（地層：常滑累層／干潮をねらって行くのがおすすめ）

この風景（写真-1）、見覚えがありませんか？（答えは次ページ）

常滑累層は、新第三紀鮮新世に形成された地層です。

長い時をかけ少しずつ削られてできた崖は、500万年ほどの歴史を記録してくれています。

そんな年代物の自然、海食崖と現代の人工物、中部国際空港とは実に対照的です。

崖の下、1/3は大谷火山灰層が露頭し、当時の堆積環境を垣間見ることができます。

炭化した立木が火山灰より軟質なため浸食されてきた縦穴？、岩石に取り込まれつつも木組織を残す樹木の節目？、葉っぱの化石、浮石の堆積状況等が観察ができます。



写真-1 高さ15m程度の海食崖と中部国際空港



写真-2 海食崖で観察できるいろいろ

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

常滑チャーシュー



前ページの答

出典：「半田地域の地質」S61地質調査所 p6

常滑チャーシュー 愛知県常滑市榎戸町1-83

営業時間：平日10:00～14:30、土・日・祝9:30～15:00

定休日：不定休

メニューはシンプル。中華そば／おにぎり／ライス のみ。
座ると中華そばは注文決定、ライスがほしけりゃ追加注文。
スープはしょうゆ、色は濃いけど、味はまろやか。
具は見えないが、メンマも入っています。



お昼時、たくさんの方が並びます。
駐車場あり。
順番待ちの名前は書かないので紳士的に。



中華そばとライス注文、出てきてびっくり、チャーシューは特大極厚が2枚。
ステーキ並のお肉、麺、ライス、食べきれんか不安になるかも。
価格は、そばとライスで850円。